

■取組みの効果（定量的な数値）

【獲得出来たポイント】

①初めてのアウトソーシングへの不安感を、3年かけて段階的な受託提案をする事で解消

- ・業務受託範囲：2021年度 50%：外部倉庫業務を受託
2022年度 75%：自社倉庫業務と貸切輸送を追加受託
2023年度100%：宅配輸送を追加受託

⇒輸送品質面とコスト面の不安が解消され、当社への信頼感が生まれた

②お客様の生産性向上とコスト削減に貢献

- ・時間貢献：本業務に従事していた営業マンがお客様の本業（営業行為＝生産活動）に専念できる環境が出来た
（効果）営業マン13名×10時間/日×60日＝7,800時間の生産活動時間を創出
- ・経済貢献：倉庫業者・配送業者と個々に契約しており物流コストが高騰していた
（効果）従来の物流費より7%のコスト削減に繋がった

【効果】

- ①収入 ・2023年度：24,000千円（倉庫：13,000千円 輸送：1,000千円 宅配：10,000千円）
- ②利益額 ・2023年度： 4,400千円（利益率18%）

【高利益率18%のポイント】

- ①本業務に従事していた営業マン13名の人件費削減効果をご提案時に表したことをご評価頂き、倉庫運営管理費を10%から13%に引き上げる事が出来た ※倉庫利益額1,800千円（利益率12%）
（お客様の費用削減効果）営業マン13名×想定人件費750千円/人×3ヶ月＝29,250千円
- ②ヤマト運輸の宅配委託交渉を、同業の目線で当社がポイントを押さえて交渉した事で低運賃での契約が出来た
（交渉のポイント）出荷拠点が福岡市、配送先シェアの80%が福岡県で近場であった事、貨物全量を委託する事を弾に福岡県内の配送運賃を定上の40%で契約 ※宅配利益額2,600千円（利益率26%）